

平成23年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年6月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ウエスコ

コード番号 9648 URL <http://www.wesco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山地 弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 奥山 一典

TEL 086-254-2111

四半期報告書提出予定日 平成23年6月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年7月期第3四半期の連結業績(平成22年8月1日～平成23年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年7月期第3四半期	5,577	△11.7	△65	—	△35	—	△118	—
22年7月期第3四半期	6,315	36.7	185	—	246	—	175	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年7月期第3四半期	△7.34	—
22年7月期第3四半期	10.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年7月期第3四半期	13,913	10,096	72.6	629.58
22年7月期	12,495	10,355	82.9	637.79

(参考) 自己資本 23年7月期第3四半期 10,096百万円 22年7月期 10,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年7月期	—	5.00	—	3.00	8.00
23年7月期	—	4.00	—	—	—
23年7月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年7月期の連結業績予想(平成22年8月1日～平成23年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	1.5	320	△22.6	310	△35.6	90	△77.7	5.54

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年7月期3Q 17,724,297株 22年7月期 17,724,297株

② 期末自己株式数 23年7月期3Q 1,687,605株 22年7月期 1,487,473株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年7月期3Q 16,136,786株 22年7月期3Q 16,237,221株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、国内景気に改善の傾向が見られたものの、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響が懸念され、依然として先行きの不透明な状態にて推移しております。

このような経済環境のなか、当社グループを取り巻く市場環境は、公共投資予算の縮減ならびに業者間の価格競争の激化により、非常に厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは多様化・高度化する顧客ニーズに対応すべく、営業基盤の強化ならびに技術力の向上に努めてまいりました。また、さらなる生産効率の向上および徹底した原価の低減を図ることにより、市場競争力を強化してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、55億7千7百万円（前年同四半期比11.7%減）となりました。損益面におきましては、営業損失は6千5百万円（前年同四半期は1億8千5百万円の営業利益）、経常損失は3千5百万円（前年同四半期は2億4千6百万円の経常利益）、四半期純損失は1億1千8百万円（前年同四半期は1億7千5百万円の四半期純利益）となりました。

なお、当社グループの主力事業であります総合建設コンサルタント事業は、その受注の大部分が官公庁からのものであり、受注業務の納期は官公庁の事業年度末である3月に集中しております関係上、当社グループの売上高は第3四半期以降に集中する傾向があります。また、指定管理事業においては、神戸市立須磨海浜水族園の管理運営を行っており、春や秋の行楽シーズンやゴールデンウィーク、夏休み期間に来園者数が多いことから、売上高についても第1四半期および第4四半期に多くなるといった季節的変動があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億1千8百万円増加し、139億1千3百万円となりました。

流動資産については、「現金及び預金」が11億7千5百万円、「金銭の信託」が10億円、「未成業務支出金」が6億9千6百万円増加し、「有価証券」が16億6百万円減少しております。結果として、流動資産合計では前連結会計年度末に比べ11億3千7百万円の増加となりました。

固定資産については、エイブル広島店借地の購入により、「土地」が2億2千2百万円増加しております。結果として、固定資産合計では前連結会計年度末に比べ2億8千万円の増加となりました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ16億7千7百万円増加し、38億1千7百万円となりました。

流動負債については、「未成業務受入金」が19億7千3百万円増加しております。結果として、流動負債合計では前連結会計年度末に比べ16億6百万円増加となりました。

固定負債については、「資産除去債務」が5千5百万円増加しております。結果として、固定負債合計では前連結会計年度末に比べ7千万円増加となりました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億5千9百万円減少し、100億9千6百万円となりました。これは四半期純損失の計上等により「利益剰余金」が2億3千1百万円減少したことが主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物は60億3千4百万円（前年同四半期比2億5千4百万円減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、11億3千4百万円の収入（前年同四半期は14億4千8百万円の収入）となりました。これは主に、未成業務受入金の増加額19億7千3百万円、たな卸資産の増加額7億6百万円などによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、3億2百万円の支出（前年同四半期は5億1百万円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億8千万円などによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、1億5千2百万円の支出（前年同四半期は2億2千3百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額1億1千2百万円、自己株式の取得による支出3千3百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年7月期の連結業績予想につきましては、平成22年9月14日に公表しました平成23年7月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業損失および経常損失は2,106千円増加し、税金等調整前四半期純損失は36,592千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は55,005千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,350,720	1,174,971
受取手形及び完成業務未収入金	404,837	507,348
有価証券	1,699,820	3,306,479
商品	8,184	6,741
未成業務支出金	2,189,689	1,493,560
販売用不動産	180,771	171,697
原材料及び貯蔵品	19,793	20,437
金銭の信託	2,100,000	1,100,000
その他	127,398	163,252
貸倒引当金	△5,213	△5,726
流動資産合計	9,076,002	7,938,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,516,118	1,562,001
土地	1,807,925	1,585,785
その他（純額）	171,240	159,574
有形固定資産合計	3,495,284	3,307,361
無形固定資産	81,219	99,919
投資その他の資産		
投資有価証券	1,078,591	882,612
その他	254,387	344,940
貸倒引当金	△71,835	△77,958
投資その他の資産合計	1,261,142	1,149,593
固定資産合計	4,837,647	4,556,874
資産合計	13,913,650	12,495,637

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年7月31日)
負債の部		
流動負債		
業務未払金	224,780	309,601
未払法人税等	51,616	66,688
未成業務受入金	2,841,871	868,839
受注損失引当金	6,850	10,179
その他	484,937	748,195
流動負債合計	3,610,056	2,003,505
固定負債		
資産除去債務	55,630	—
その他	151,638	136,452
固定負債合計	207,268	136,452
負債合計	3,817,325	2,139,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,282,648	3,282,648
資本剰余金	4,139,404	4,139,404
利益剰余金	3,101,676	3,332,989
自己株式	△428,494	△394,878
株主資本合計	10,095,234	10,360,163
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,091	△4,484
評価・換算差額等合計	1,091	△4,484
純資産合計	10,096,325	10,355,679
負債純資産合計	13,913,650	12,495,637

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)
売上高	6,315,645	5,577,623
売上原価	4,743,727	4,385,511
売上総利益	1,571,918	1,192,112
販売費及び一般管理費	1,386,007	1,257,733
営業利益又は営業損失(△)	185,910	△65,621
営業外収益		
受取利息	10,039	6,047
受取配当金	4,127	4,293
債務勘定整理益	20,000	—
投資有価証券償還益	6,857	—
受取賃貸料	4,400	41,983
その他	20,633	22,789
営業外収益合計	66,058	75,114
営業外費用		
支払利息	436	—
賃貸費用	4,962	44,706
その他	3	251
営業外費用合計	5,402	44,957
経常利益又は経常損失(△)	246,566	△35,465
特別利益		
固定資産売却益	—	143
貸倒引当金戻入額	8,075	3,884
特別利益合計	8,075	4,028
特別損失		
固定資産除売却損	390	1,177
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	34,485
特別損失合計	390	35,663
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	254,251	△67,100
法人税、住民税及び事業税	79,163	51,350
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△118,450
四半期純利益又は四半期純損失(△)	175,087	△118,450

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)
売上高	3,543,426	3,237,462
売上原価	2,539,824	2,481,102
売上総利益	1,003,601	756,359
販売費及び一般管理費	449,098	427,460
営業利益	554,502	328,899
営業外収益		
受取利息	1,735	1,890
受取配当金	776	776
債務勘定整理益	20,000	—
受取地代家賃	3,435	—
受取賃貸料	4,400	14,483
その他	3,213	6,081
営業外収益合計	33,559	23,231
営業外費用		
支払利息	32	—
賃貸費用	4,171	12,764
その他	3	0
営業外費用合計	4,206	12,764
経常利益	583,855	339,365
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,593	1,103
投資有価証券評価損戻入益	4,860	29,968
特別利益合計	6,453	31,071
特別損失		
固定資産除売却損	98	—
特別損失合計	98	—
税金等調整前四半期純利益	590,210	370,437
法人税、住民税及び事業税	69,129	39,969
少数株主損益調整前四半期純利益	—	330,467
四半期純利益	521,081	330,467

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	254,251	△67,100
減価償却費	214,583	166,163
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	34,485
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,475	△6,635
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△7,294	△3,329
有形固定資産除売却損益(△は益)	390	1,177
受取利息及び受取配当金	△14,166	△10,341
支払利息	436	—
売上債権の増減額(△は増加)	81,078	102,661
たな卸資産の増減額(△は増加)	△497,816	△706,001
仕入債務の増減額(△は減少)	78,444	△84,821
未成業務受入金の増減額(△は減少)	1,396,960	1,973,032
その他	4,256	△224,433
小計	1,500,647	1,174,857
利息及び配当金の受取額	13,736	7,819
利息の支払額	△436	—
法人税等の支払額	△65,549	△48,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,448,397	1,134,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△199,421	—
有価証券の償還による収入	700,000	107,000
定期預金の増減額(△は増加)	△7,724	2,533
投資有価証券の取得による支出	—	△199,000
投資有価証券の売却による収入	—	5,064
有形固定資産の取得による支出	△18,799	△280,032
貸付けによる支出	△3,920	△320
貸付金の回収による収入	5,606	5,503
その他	25,943	56,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	501,685	△302,955
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△90,000	—
配当金の支払額	△130,524	△112,214
自己株式の取得による支出	△59	△33,628
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,071	△6,839
その他	10	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△223,645	△152,675
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,726,437	678,505
現金及び現金同等物の期首残高	4,562,346	5,355,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,288,784	6,034,035

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間（自平成22年2月1日至平成22年4月30日）

	総合建設コンサルタント事業 (千円)	複写製本事業 (千円)	不動産事業 (千円)	スポーツ施設運営事業 (千円)	その他の事業 (千円)	合計 (千円)	消去または 全社(千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	3,272,688	93,992	23,621	121,702	31,421	3,543,426	—	3,543,426
(2) セグメント間の内部売上高	—	90,048	672	1,973	—	92,693	(92,693)	—
計	3,272,688	184,040	24,294	123,675	31,421	3,636,120	(92,693)	3,543,426
営業利益または営業損失(△)	516,772	27,935	5,806	△1,519	1,318	550,313	(△4,189)	554,502

前第3四半期連結累計期間（自平成21年8月1日至平成22年4月30日）

	総合建設コンサルタント事業 (千円)	複写製本事業 (千円)	不動産事業 (千円)	スポーツ施設運営事業 (千円)	その他の事業 (千円)	合計 (千円)	消去または 全社(千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	5,613,922	231,989	75,195	363,115	31,421	6,315,645	—	6,315,645
(2) セグメント間の内部売上高	—	207,499	2,748	5,513	—	215,761	(215,761)	—
計	5,613,922	439,489	77,944	368,628	31,421	6,531,406	(215,761)	6,315,645
営業利益または営業損失(△)	145,306	5,454	22,360	△1,298	1,318	173,141	(△12,768)	185,910

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、役務の種類・性質の類似性を勘案し、総合建設コンサルタント事業、複写製本事業、不動産事業、スポーツ施設運営事業、その他の事業にセグメンテーションしております。

2. 事業区分の追加

当第3四半期連結会計期間において、神戸市立須磨海浜水族園の指定管理事業を開始したことにより、「その他の事業」セグメントを新たに追加しております。

3. 各事業区分の主要業務

事業区分	主要業務内容
総合建設コンサルタント事業	建設コンサルタント、建築設計、補償コンサルタント、環境アセスメント、一般測量、航空測量、地質調査
複写製本事業	陽画焼付、図面複写、各種印刷および製本等
不動産事業	不動産の分譲、賃貸および住宅の販売等
スポーツ施設運営事業	スポーツ施設および関連施設の運営等
その他の事業	神戸市立須磨海浜水族園の管理運営等

(所在地別セグメント情報)

前第3四半期連結会計期間（自平成22年2月1日至平成22年4月30日）および前第3四半期連結累計期間（自平成21年8月1日至平成22年4月30日）

当社は、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため該当事項はありません。

(海外売上高)

前第3四半期連結会計期間（自平成22年2月1日至平成22年4月30日）および前第3四半期連結累計期間（自平成21年8月1日至平成22年4月30日）

当社は、海外売上高がないため該当事項はありません。

(セグメント情報)

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(平成21年3月27日 企業会計基準委員会 企業会計基準第17号)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(平成20年3月21日 企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第20号)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間(自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)および当第3四半期連結会計期間(自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別に事業部および連結子会社を置き、各事業部および連結子会社は取り扱うサービスについて戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部および連結子会社を基礎としたサービス別事業セグメントから構成されており、「総合建設コンサルタント事業」、「複写製本事業」、「不動産事業」、「スポーツ施設運営事業」、「指定管理事業」の5つを報告セグメントとしております。

「総合建設コンサルタント事業」は、建設コンサルタント、環境アセスメント、一般測量、地質調査等を行っております。「複写製本事業」は、陽画焼付、図面複写、各種印刷および製本等を行っております。

「不動産事業」は、不動産の分譲、賃貸および住宅の販売等を行っております。「スポーツ施設運営事業」は、スポーツ施設および関連施設の運営等を行っております。「指定管理事業」は、神戸市立須磨海浜水族園の管理運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	総合建設 コンサルタン ト事業	複写製本事業	不動産事業	スポーツ施 設運営事業	指定管理事業			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,644,154	184,528	45,248	371,837	331,854	5,577,623	—	5,577,623
(2) セグメント間の内部売上高 または振替額	2,177	207,362	2,037	6,320	24	217,922	(217,922)	—
計	4,646,332	391,891	47,286	378,157	331,879	5,795,546	(217,922)	5,577,623
セグメント利益または損失 (△)	△63,604	△1,346	13,289	8,101	△32,050	△75,611	9,989	△65,621

当第3四半期連結会計期間(自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	総合建設 コンサルタン ト事業	複写製本事業	不動産事業	スポーツ施 設運営事業	指定管理事業			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,923,972	77,692	17,368	121,447	96,981	3,237,462	—	3,237,462
(2) セグメント間の内部売上高 または振替額	1,950	93,060	965	2,060	24	98,061	(98,061)	—
計	2,925,922	170,753	18,333	123,507	97,006	3,335,523	(98,061)	3,237,462
セグメント利益または損失 (△)	328,376	28,795	9,503	△938	△41,101	324,635	4,263	328,899

- (注) 1. セグメント利益または損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益または営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
当第3四半期連結会計期間（自平成23年2月1日 至平成23年4月30日）
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

該当事項はありません。